

大会実行委員長ご挨拶

真の武道 少林寺拳法

～2015年度 少林寺拳法関東実業団
45周年記念大会によせて～



全日本・関東実業団
少林寺拳法連盟

理事長 ねもと たけみ
根本武美

「2015年度 少林寺拳法関東実業団 45周年記念大会」が関係各位のご理解とご協力のもと、かくも盛大に開催できましたことを心より感謝いたします。

あらゆる職場のあらゆる階層に少林寺拳法の考えをもった人が一人でも増えれば、この世はきっと良くなるとの願いが込められて当連盟が設立されてから45年が経ちました。この間日本経済と呼応するかのごとく個人会員と支部数の増減があり未だ苦戦中で

はありますが、今後5年を目処に再び隆盛を取り戻し、末永く開祖の志を引き継いでまいりたいと考えております。その際キーワードとなるのは「武道」ではないでしょうか。「広く一般の人々に、武道を通して学校・職域等において自己の変化、達成感を味わう環境づくりを提供する」これは一般財団法人少林寺拳法連盟が掲げている使命です。少林寺拳法の優れた拳技は多くの人を魅了する力を持っています、道訓や教範に書かれている教えは日々生きていくうえでの道しるべとなります。これこそが拳禅一如であり少林寺拳法が真の武道と呼ばれるゆえんです。まずは私たち自身が日々の修行に励み、少林寺拳法の魅力を家庭や職域に展開していきましょう。そうすれば個人会員と支部増加は、きつついてくると信じています。

今年、全日本実業団少林寺拳法連盟も45周年を迎えます。10月17日には名古屋地区において記念式典を開催いたします。そこには数々の困難を乗り越え5年越しでこの7月に設立が予定されている四国実業団少林寺拳法連盟の参加もあります。当連盟の拳士はもちろん、ご関係の皆様をはじめ多くの方の参加をお願い申し上げます。

さて、本大会は11月15日に京都で開催される全国大会の選考会も兼ねています。全国大会進出の夢を胸に、気迫溢れる渾身の演武をご披露いただきたいと思います。また恒例となりました「自他共楽の部」、「阿羅還の部」や、演武の自由度を高め表現の枠を広げた「拳禅一如の部」といった当連盟ならではの修練発表の部も設けてあります。競技の世界と一線を画した修練成果の発表を期待しています。

拳士一人ひとりの修行環境の充実に努めることで、実業団連盟は人を活かして今後も仲間を増やし続けていきたいと思っております。そんな決意表明をもって私の挨拶とさせていただきます。

合掌